

日本学術会議
経済学委員会数量的経済・政策分析分科会議事録
第24期 第6回

- 1 開催場所 オンライン
- 2 開催日時 令和2年9月12日(土)14時00分から16時00分
- 3 出席者(50音順) 宇南山卓、大森裕浩、川崎茂、川崎能典、小原美紀、西郷浩
塩路悦朗、瀬古美喜、西山慶彦、福重元嗣、宮越龍義、美添泰人
(12名)

【議題】

(1) 議事録の確認

前回の議事録について、確認され承認された。また、5/30-31で行われた2020年度春季大会(九州大学で開催予定であったが、オンライン開催に変更)にて、チュートリアルセッションを盛況のもと開催されたことが報告された。初めてのオンラインであったが、90名の出席。

(2) 提言についての報告

提言「行政記録情報の活用に向けて」を最終提出することを報告した。また、所属等の確認を行った。提言の内容の実現のために、今後のアウトリーチについて検討することとした。

(3) 日本経済学会へのチュートリアルセッションの提供について

来期以降も継続するかは検討が必要とされた。発展的に別の企画とすることを新しい期になってからもう一度議題とする。継続するとしたら、以下の案に基づき打診する。

- ・マクロ計量、実証(東京大学北尾先生、明治大学山田先生)
- ・POSデータ関係、高頻度データ関係(東京大学渡辺努先生?)
もしかしたら、家計消費の関係ならば国友直人先生にも打診

(3) 分科会の来期開催に向けた課題の整理

基本的には、来期も分科会を継続することが了承された。上記の議題2、3で議論したテーマについて議論した。今期やってきたこと(提言の作成、政府統計問題に関するシンポ

ジウムの開催、学会でのチュートリアルセッションの開催、分科会の開催)を受けて、次期の課題をまとめた。

- 提言（税務情報を研究利用のために公開してほしい）を実現するために、各官庁への働きかけの必要性。特に、研究者から積極的に研究提案をするべき。
- チュートリアルセッションを今後どうするか。今後引き続き話し合う。